

フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会（第26期・第1回）
議事要旨

1. 日 時 令和6（2024）年4月12日（金）10時00分～12時05分

2. 会 場 オンライン開催（Zoom）

3. 委員出欠

出席者：沖大幹、三枝信子、江守正多、春日文字子、亀山康子、神原咲子、近藤康久、

谷口真人、張勁、橋爪真弘、福士謙介、山内太郎、山下潤、渡辺知保

欠席者：狩野光伸、蟹江憲史、鈴木康弘

事務局：柳原情子、齊藤美穂

4. 議事内容

委員長選任までの間、事務局が議事進行を務めた。

開会にあたり、事務局より、定足数を満たしている旨の報告があった。

1) 委員の紹介

出席委員が名簿順に自己紹介を行った。

2) 委員会設置の説明

世話人の沖委員から資料2に基づいて説明があった。

3) 委員長の選出、副委員長・幹事の指名と承認

出席委員の互選により、沖委員が委員長に選出された。

沖委員長より、亀山委員を副委員長、張委員・近藤委員を幹事に指名する旨の発言があり、これを承認した。

4) 委員会の役割について

三枝委員より、画面共有資料に基づいて説明があった。

5) Future Earth の国内外の動向について

春日委員より、資料3に基づいて説明があった。その際、口頭にて下記の補足があった。

○ Cross-Cutting Initiatives Grant Program は2つ以上の Research Network 又は国内委員会が核となって提案できるので、ぜひ応募を検討してほしい。

○ Future Earth グローバルハブの一翼を担う総合地球環境学研究所の Ria Lambino 氏を中心に、アジア地域委員会の運営を強力にバックアップしている。

○ TERRA School 卒業生のネットワークが充実してきた。今後、アフリカ諸国にも対象を拡大予定。

説明に引き続いて、委員間で意見交換を行った。主な意見は次の通り。

○ 世界と日本をつなぐ取組を、組織的に実行したい。特に、若手研究者を Future Earth

の枠組みを通じて国際舞台に送り出す仕組み作りについて検討したい。

- Future Earth 日本委員会との連携強化の在り方について検討したい。
- SDGs への貢献の在り方を審議する分科会及び小委員会を設置したい。

これらの課題については、次回委員会に議論を持ち越すこととした。

6) その他

沖委員長から提案議事要旨の修正を委員長に一任することについて提案があり、これを承認した。

沖委員長から委員間でメールアドレスを共有する旨の提案があり、出席委員一同の同意を得た。欠席委員については会議後に事務局から同意を得ることとした。

今回は、7月19・20・21日、9月3・6日等を開催候補日として、日程調整を行うこととなった。

以上